

# 生き直し通信

第6回  
リディラバ  
ツアーの写真



※一般の方に出所者のことを考えて頂くツアー



## 現在までに14名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

**8月13日に女性用の自立準備ホームを開設したので、今後はその家賃等に寄付金をあてさせていただきます。**

令和元年9月

発行：(一社)生き直し

会員数：50名

寄付支援者数：103名

\*単発寄付や物資等

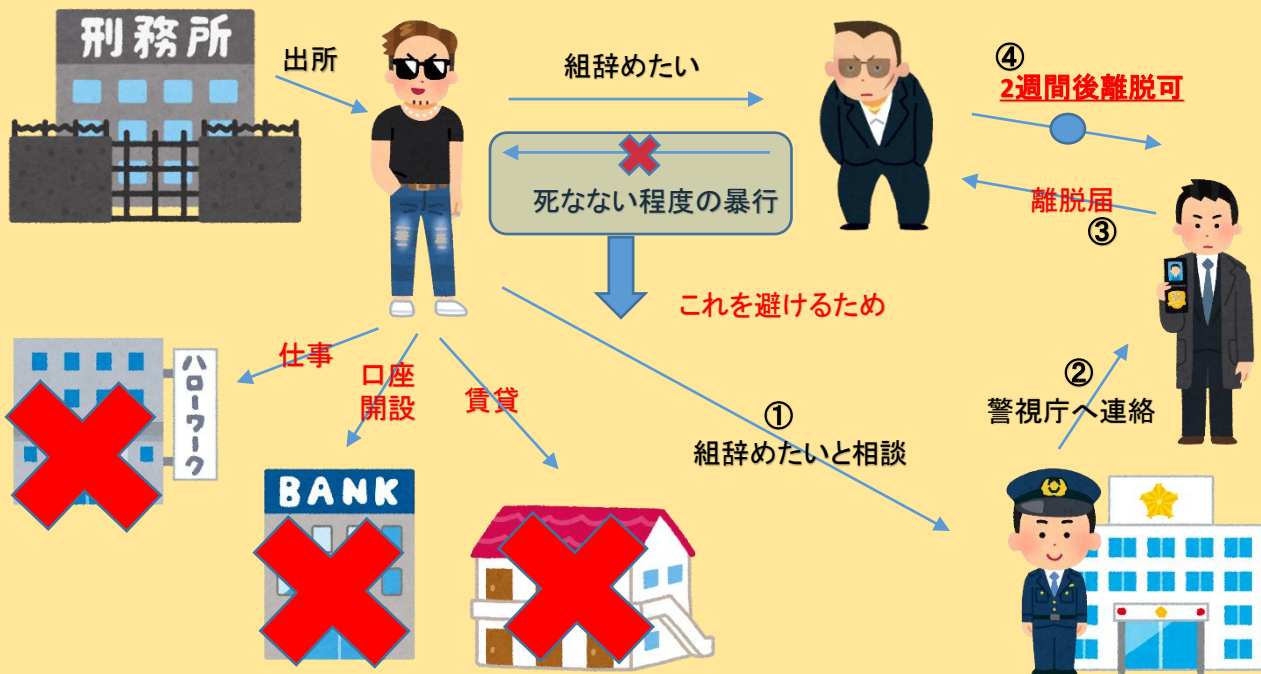
## 自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。\*平成30年4月時点で登録事業者数が395。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



# 反社会勢力から抜けるのは難しい？

今回は、以前、軽く扱った反社会勢力のことについてもう少し詳しく考察してみました。



## 仕事してないと組辞められない？

反社辞めたいんですけど

家も仕事もないんじゃ認められん！

反社を辞めることについては、実際には、法整備もないのが現状で、わざと口座等を作る目的のみや物件を借るためだけに「組辞めたい」という事例も少なからずある模様。そのため、警察では、単に「組辞めたい」という言葉だけでは信用せず「家と仕事を見つけてから来るように」ということも実際にあり得るそう。でも家も借りられず、仕事もないから相談しているのにそうになったら、いったい。。。実際にそう言われた人は「ヤクザに戻れ」と警察に言われたと感ぜられたそうです。

○やっぱり反社会勢力の人の社会復帰は難しい。

反社会勢力の人は、警視庁に登録されているため、組員のままであると、「家を借りられない」「口座が作れない」「仕事もできない」という状況。

そこで、組辞めたいんですけど、なーんて軽く言っちゃったら、組の人に死なない程度に暴行を受けてしまうそう。場合によっては指をつめると言われるらしい。

そこで、警察に相談し、警視庁の暴力団関連の対応をしている通称「マル暴」に相談し、組に辞めたいという趣旨の「離脱届」というものを組に出してもらいます。

そこから2週間何の音さたもなければ組を抜られるという仕組みになっています。

しかし、そもそも、抜けるまでに2週間は組員であること、実際に警察に相談してからになるので、1か月近くは組員であるので、国の機関での受け入れもおろか、他のところへ行くこともできず、助ける人がいなければ絶対に組を抜けにくい現状。

暴対法も抜けることを前提として作られておらず、あくまで排除が目的。なので、反社を辞めたくても辞められな人が多いたのが現状。

## Mini Column ～ヤクザ辞めたあとも口座が作れない～

○離脱後5年は口座開設拒否？

上記のとおり、一度暴力団に入ってしまうと最後、抜け出すのが非常に難しく、社会復帰も大変なのが現状です。

ただ、暴力団への風当たりが強い現状もあり、本人も改心したい気持ちで、辞める方も増えてきています。

そんな方々に水を差すのが、金融機関が独自に定める暴力団排除条項で、暴力団を離脱後も5年間は組員とみなして普通預金口座の開設を断る「**元暴5年条項**」。

各銀行は、犯罪に使われる恐れがあることから、「リスク排除」「反社会的勢力との関係遮断」を理由に暴力団を離脱後も5年間に渡って口座を作らせないという処理をしているのが現状です。

これでは、離脱後ちゃんと仕事をしていても口座を作ることができず、社会生活をうまくすることができなくなってしまうのですが、そこは銀行はおかまいなし。過度な締め付けがより犯罪を助長してしまうのではないかと思う今日この頃。



ワレ！いつまで口座作らせない気や！

現在までに14名の刑余者が！



# 刑務所向け求人誌『Chance!! Vol.7 秋号』

刑務所向けの求人誌『Chance!! Vol.7秋号』に自立準備ホーム生き直しのことを掲載させて頂くことに！

約1,500名の受刑者に向けて配布するので、そこから「生き直し」に来ていただければ！との思いと、満期出所だとしても行き場がないと考えている受刑者に向けて、自立準備ホームというものがあると知ってもらえるキッカケになればと。

もし刑務所向けに求人掲載をしたいと考えている方は千葉までご連絡を。

「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援する企業のための求人誌

## Chance!!

Vol.7 2019 秋 有効期限 9/1 ~ 11/30

面接可能！  
身元引受可能、社宅・寮完備の全20社掲載!!

少年院・留置場・拘置所・刑務所内でも

インクビュー 新築分譲 NO DRUGS 警視庁 蜂谷 嘉治さん

出所後の帰住先 男女ともに入所可能！

### 自立準備ホーム 生き直し

『どんな人でも生き直すことができる』をモットーに東京多摩地区で開設。  
おもに満期で行き場のない方の受け入れをおこなっております。

ここは皆さんが自立するための施設ですから、仕事をするのが前提。就労している人は例外的に門限を過ぎてもOKとしています。なので、もちろんな夜勤の仕事や飲食の仕事についても構いません。携帯もお金も基本的に各自で管理して頂きますが、希望があれば管理します。施設内は飲酒禁止ですが、タバコはベランダならOK、毎日入浴もできます。

入居の流れ

- 1 施設説明 設備説明会
- 2 申し込み 申し込み書(03-3597-6120) 見学 見学説明会(048-681-6288)
- 3 面接 → 受け入れ

入所可能な期間は最大6カ月、最大6名まで入居可能です。(女性は当番2名まで)。  
※ 特例入居の場合、内容によってはお断りする場合がございます。

代表 千葉 龍一さん プロフィール

大学時代に自らハンドルの握るクルマで交通事故を起こし、助手席にいた乗客が死亡する惨劇を目撃し、人生のどん底へ、自分が生きることは許されないと思ふようになった。しかし、特例入居の仲間や多くの友人に助けられ、自分の命のけい方は理のかけらにあるべきだと決意。その後、縁があり日本銀行らみ等で刑余者の支援にかかわる。その経験を活かし、(株)生き直しを設立。2019/9/13女性用のホームも開設。

お問い合わせ

自立準備ホーム 生き直し 施設内からのお問い合わせ先 (株)ヒューマンコメディ

TEL: 030-7404-4428 MAIL: info@humancomedy.jp

ヒューマンコメディ 三宅 晶子さん

〇自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。

- ① 賛助会員 (寄付)
- ② お米や家に余っている食材等
- ③ 出所後、六か月以内の出所者
- ④ 家 (1ルームでも可)

皆さまのご支援ご協力お待ちしております

## 生き直し代表 千葉龍一

絶賛お米募集中です!!!

## バースデードネーション 成功！

先日行ったバースデードネーションで、目標としていた「6カ月分の家賃(378,000円)」は見事達成することができました。感謝です！

ご協力を頂いた皆さま、本当にありがとうございました。

これから少しでもたくさんの女性の出所者を支援できるよう頑張っています。

今後の持続的な運営のためにぜひ引き続きのご支援や会員登録をご検討いただければ嬉しいです。

千葉龍一の birthday donation

刑務所から出てきた女性が住める施設オープン&継続運営のために

今日は、誕生日プレゼントの代わりに、刑務所から出てきた女性が一定期間住める施設の開設と継続的な運営のための寄付をお願いしていませんか？  
今回開設する施設の運営が安定するまでの最初の6ヶ月間の家賃378,000円を目標にバースデードネーションに挑戦します！

ボタンで500円から寄付できるので、千葉にコーヒー杯(餃子一枚)ごちそうするくらい気軽な気持ちで寄付をお願いします！  
お願いできると嬉しいです！

